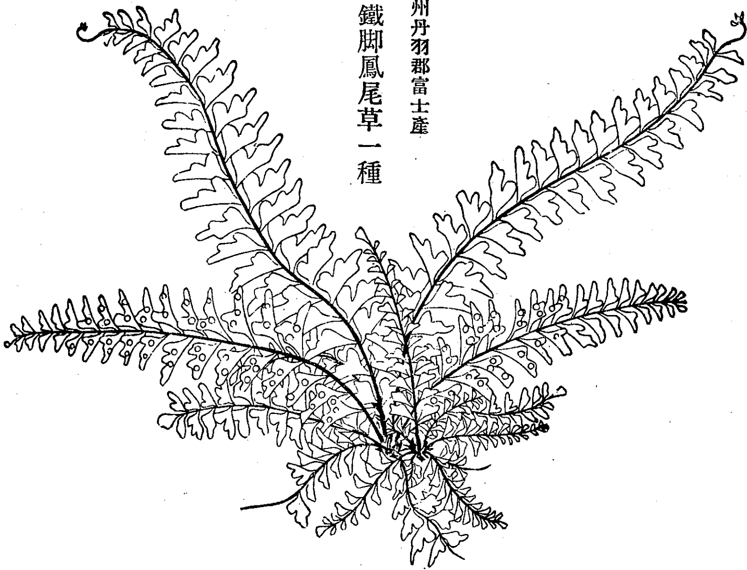
○ふじしだトほんぐうしだ

牧野富太郎

羊齒ノ一種ニふじしだ(學名ハMonachosorum Maximowiczii HAY.)ト云フ者ガアル又ほんぐうしだ(學名ハAsplenium oligophlebium BAK.)ト稱スル者ガアル此ほんぐうしだノ名ハ何ニ基ヅイテ名ケタカト云フト是レハ紀州ノ本宮デハナク尾張ノ本宮山カラノ名デアル又ふじしだノ名モ駿河ノ富士山ヨリ出タノデハナク同ジク尾張ノ富士山カラデアル私ハ此尾張ノ二ツノ山ヘハ未ダ曾テ行イタコトハナイガ然シ分布ノ上カラ言ッテモ此二羊齒ガ此等ノ山ニ産スルコトハ蓋シ必然ナコトデアラウト思フ尾張ノ名古屋ハ往時ハ本草學ノ熾ンナ處デ斯道ノ學者ガ澤山居ッタノデアルカラ當時是等ノ學者ニヨッテ右ノ羊齒ガ採集セラレ乃チ上ノ様ナ名ガ付ケラレタモノデアル此兩山ハ尾張ノ北方ニ在テ丹羽郡ニ屬シ殆ンド相並ンダ山デアル即チ本宮山ハ富士山ト隣リ中間タヾ一條ノ里道デ相隔ッテ居ルニ過ギナイ尾張名所圖會(後編)巻ノ六ニ據レバ『本宮山(大縣神社のうしろ社より東北にありて眞神山眞靈山二宮山ともいふ二ノ宮の本宮をいつき祭るゆゑに此名あり)當山は本州第一の高峯にして是を遠望する時は形富嶽の如し故に俗呼で大富士と稱す』ト記シテアル又同書ニ『尾張富士(富士村にあり本宮山に對して俗に小富士ともいへり)孤峯最高く遠くは駿河の士峯を望み近くは入鹿の大池ヲ見下し尾三濃信の連山一眸につきて風光無双の佳境なり凡擬富士は諸國にありといへども皆其形によりて名付たるを此尾張富士のみは左にあらずむかし近江の土を駿河に運びて湖と富士山とを造り賜ひし時擔夫の神此地にて一簣を覆し給ひしが則此山となりしよしいひ傳へたれば彼駿河の山と同じ土石なりとぞ』ト出テ居ル

先輩ノほんぐうしだト呼ビ來リタル前述ノ一羊齒ハ今ヨリ八十三年前ノ天保六年三月ニ尾張名古屋ノ嘗百社デ出版シタ『乙未本草會物品目錄』ニ『鐵脚鳳尾草一種』トシテ其圖ガ出テ居ル此レハ當時同市ノ本草家ナル繇條園大河内存眞氏ノ出品デアル今參考ノ爲メニ其圖ヲ次頁ニ轉寫シタ此羊齒ハ前述尾張ノ富士山ニモ亦産スルト見エ

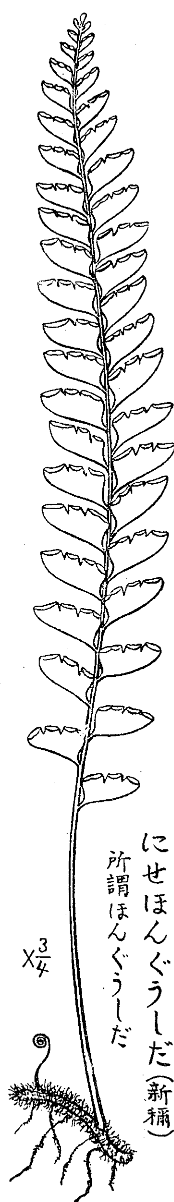


本州丹羽郡富士產
鐵脚鳳尾草一種

テ此『乙未本草會物品目錄』ノモノハ『本州(編者曰ク卽チ尾張)丹羽郡富士產』ト肩書ガシテアル『眞影本草』ニモ此羊齒ノ圖ガ印セラレテアリ又田中芳男氏編輯ノ『羊齒分科名彙』ニモほうぐうしだノ名ヲ出シ名下ニ『羊齒目錄曰尾州二ノ宮本宮山產』ト註シ又併セテ『葉先ヨリ分根ス』ト記シテアル

此ノ如ク先輩ノ稱呼シ來レルほんぐうしだハ今日吾人ノ唱フルかみがもしだ、一名ひめぬりとらのを、一名ひめちやせんしだ卽チ Asplenium oligophlebium Baker. (=A. *Miyoshii* Makino.)デアル此ノ樣ニほんぐうしだノ名ハ原トハ此羊齒ニ名ケタモノデアッタガ明治ノ初年頃ニ誰レガ間違ヘシカ此名ヲシテ全ク別屬ニ屬スル一羊齒 Lindsaya cultrata Sw. ニ轉嫁セシメタノデアル其レ故今日デハ吾人ハ此誤リヲ襲イデ此學名ノ品ヲほんぐうしだト唱ヘテ敢テ怪マズニ居ル樣ニナッテ居ルガ今此ニ私ハ之ヲ正ニ反(カヘ)サンガ爲メニ此ほんぐうしだナル名稱ハ卽チ本宮山ニ採リ且同山ノ名ニ基キテ命名シタ歷史アル此名稱ヲ右ノ L. cultrata Sw. ヨリ取リ上ゲテ之ヲ原トノ植物卽チ今日謂フ所ノかみがもし

だニ返上スル事ニシタ扨ソウスルト今日謂フほんぐうしだニ其和名ガ亡クナッテ仕舞フカラ私ハ其代リニにせほんぐうしだノ新名ヲ新ニ L. cultrata Sw. ニ與フル事トシタ其羊齒ハ即チ次ノ様ナ形ヲシタ者デアル



にせほんぐうしだ（新稱）
所謂ほんぐうしだ
Lindsaya cultrata Sw.

かみがもしだ即チ本來ノほんぐうしだノ學名ガ確ニ Asplenium oligophlebium BAKER. デアルコトハ曾テ武田久吉君ノ厚意デ能ク明カニナッタ其レハ此學名ニ伴フタ原記載文ガ西暦一千八百八十年英國出版ノ園藝雜誌 The Gardeners' Chronicle ニ載ッテ居レドモ生憎此部ガ日本ニ無クテ見ラレナイノデ止ヲ得ズ當時英國ニ居ラレタ同君ヲ煩ハシテ其記載文ヲ寫シテ送ッテ貰ッタ且ツ同君ハ親切ニモ BAKER氏ノ命名セル原標品ヲキウ植物園ノ標品彙中デ檢シテ呉レタ爲メ此學名ノ者ガ愈かみがもしだデアル事ガ始テ突キ止メラレタ、日本デハ毎度此様ニ原記載ノ載ッテ居ル書物ガ備ハッテ居ナイガ爲ニ時々吾人ハ大困リヲヤルノデアル、アノ書物ガアレバ此植物ノ解決ガツクト思フトサー後トモ先モ考ヘナクナリエー儘ヨト思ッテ端書一本望ミノ書物ヲ獨逸ナドヨリ取寄セタハヨカッタガ代價ヲ拂フ場合ニ大マゴツキニマゴツイテ時ニハ金ガ無イノニ書物ヲ買フトハ怪シカラヌト私ノ勤メテ居ル大學ノ總長カラ叱ラレタコトナドモアッタガ書物ガアルト分ラヌ植物ガ能ク分ルノデ本當ニ愉快デタマラナイ此分ルト云フコトガ自分ノ爲メデナク學問ノ爲メデアルコト位ハ世人ハ氣ヲキカシテ呉レネバナラナイ借金マデシテ學問ノ爲ニ働テ居リナガラ人ニ惡ク言レテハ全ク間尺ニ合ハナイ

ふじしだハ尾張藩ノ人、舍人清原重巨ノ著ナル『草木性譜』地ノ巻ニ出テ居ル又『重修本草綱目啓蒙』巻ノ十三下ニモ出テ居ル然シ共ニふじガふぢニナッテ居ルガ此ぢハじデナクテハナラナイソシテ其『草木性譜』ノ文ハ『ふぢしだ 漢名未詳 深山に生ず其葉莖長く小葉繁密綠色冬を經て凋まず夏中葉末の地に著く者根を生じ分種す鐵脚鳳尾草の類なり』デアル又『眞影本草』ニ其圖ガ載ッテ居ル又田中芳男氏ノ『羊齒分科名彙』ニモ其名ガ出テ居リ名傍ニ『尾州丹羽郡富士產』ト記シテアル此羊齒ノ學名ハ始メ Polypodium Maximowiczii Baker.デアッタガ次ニ Ptilopteris Maximowiczii Hance. トナリ次ニ Phegopteris Maximowiczii Christ. トナリ次ニ Polystichum Maximowiczii Diels. トナリ最後ニ Monachosorum Maximowiczii Hayata. トナッタノデアル

○斷枝片葉（其七）

牧野富太郎

●さんしきすみれノ和名ハ何時誰レガ名ケシ乎　三色すみれハ Viola tricolor L. ヲ直譯シタモノデアル此名ハ何時頃誰レガ拵ヘシカト云フニ是レハ伊藤謙（ユヅル）氏ガ製シタ名デ明治七年ニ文部省デ出版シタ同氏譯述ノ「植學略解」ニ出テ居ル此書ハ Eliza A. Youmans 氏著 The First Book of Botany ヲ抄譯シタモノデアル、此伊藤謙氏ハ伊藤圭介先生ノ令息デ明治十二年ニ尚歲ガ若クテ病歿セラレタガ其名ハ長ヘニ我邦植物ノ學名トナッテ遺ッテ居ルモノガアル即チ Carex Idzuroei Franch. et Sav.（うますげ）ノ如キ又 Saxifraga Merkii Fisch. var. Idsuroei Engl. = S. *Idsuroei* Franch. et Sav.（くもまぐさ）ノ如キハ是デアル同氏ニハ又「藥品名彙」ト題スル著書ガアッテ明治六年初版、同十六年ニ其增訂版ガ公ニナッタ此增訂版ハ同氏ノ死後ニ刊行セラレタ

●新種はまかきらん　海邊ノ砂地ニ一種ノかきらんガアル新和名ヲはまかきらんト名ケ又新學名ヲ Epipactis Sayekiana Makino.(sp. nov.) ト定メタ其記載文ハ不日本誌上ニ於テ見ユルノデアル